学校番号	３１８

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）総合数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	領域別パーフェクトテキスト「統計」編						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数学は「考える」学問です。定義を理解し、問題の答えを導くには時間を要することもありますが、「考える」過程を大切にした学びは自らの思考力を育むことにつながります。わからない問題に出会ったときにこそ、思考を深めるチャンスと捉え、じっくりと問題に向き合いましょう。
・問題を解くときには、答えを求めるだけでなく、途中式や求め方、考え方を書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・授業中にポイントを絞って説明します。その後、類題を解けるようになってください。
理解できない問題はその日の内に解決するくらいの気持ちになりましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（ａ）数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
（ｂ）事象を数学的に考察・処理・表現したりする技能を身につけるようにする。
（ｃ）数学のよさを認識し、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	演習を通して基礎計算力を養い、定理や公式を深く理解し、それらを応用することができたかなど数学の基礎的能力を身につける。	合理的かつ論理的に考えを進め、互いに自分の考えを分かりやすく説明する機会を設け、自らの考えを表現する力を身につける。	学習したことを日常生活や他教科等に関連づけより深く広い学びに繋げ、生徒の興味・関心を引き出す。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容		評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	微分と積分	微分と積分	(a) 微分と積分における、基礎計算力を養い、定理や公式を深く理解し、それを応用することができる。 (b) 微分と積分において、自らの考えを筋道立てて書き表すことができる。 (c) 微分と積分において、自発的に問題に取り組めるようになり、他の生徒の解法に学び、多角的に問題を捉えることができる。	確認テスト 単元テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 観察等
	データの分析	データの分析	(a) データの分析における、基礎計算力を養い、定理や公式を深く理解し、それを応用することができる。 (b) データの分析において、自らの考えを筋道立てて書き表すことができる。 (c) データの分析において、自発的に問題に取り組めるようになり、他の生徒の解法に学び、多角的に問題を捉えることができる。			
	独立試行	独立試行	(a) 独立試行の確率における、基礎計算力を養い、定理や公式を深く理解し、それを応用することができる。 (b) 独立試行の確率において、自らの考えを筋道立てて書き表すことができる。 (c) 独立試行の確率において、自発的に問題に取り組めるようになり、他の生徒の解法に学び、多角的に問題を捉えることができる。			

2学期	確率分布	確率分布	(a) 確率分布における、基礎計算力を養い、定理や公式を深く理解し、それを応用することができる。 (b) 確率分布において、自らの考えを筋道立てて書き表すことができる。 (c) 確率分布において、自発的に問題に取り組めるようになり、他の生徒の解法に学び、多角的に問題を捉えることができる。	確認テスト 単元テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 観察等
	正規分布	正規分布	(a) 正規分布における、基礎計算力を養い、定理や公式を深く理解し、それを応用することができる。 (b) 正規分布において、自らの考えを筋道立てて書き表すことができる。 (c) 正規分布において、自発的に問題に取り組めるようになり、他の生徒の解法に学び、多角的に問題を捉えることができる。			
	統計的な推測	統計的な推測	(a) 統計的な推測における、基礎計算力を養い、定理や公式を深く理解し、それを応用することができる。 (b) 統計的な推測において、自らの考えを筋道立てて書き表すことができる。 (c) 統計的な推測において、自発的に問題に取り組めるようになり、他の生徒の解法に学び、多角的に問題を捉えることができる。			
3学期	推定	推定	(a) 推定において、基礎計算力を養い、定理や公式を深く理解し、それを応用することができる。 (b) 推定において、自らの考えを筋道立てて書き表すことができる。 (c) 推定において、自発的に問題に取り組めるようになり、他の生徒の解法に学び、多角的に問題を捉えることができる。	確認テスト 単元テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 観察等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度